

## 社 報



## 無借金経営

## インプルーブで優秀賞

11月15日(金) 14:00～  
朝日生命ホールにて第32回  
インプルーブKANEKI21が  
開催されました。

当日は5件の優秀提案の発表があり、当社の改善事例  
「「ガッチ」グリーンフロント  
堺寮Ⅱ期工事での取組み」  
を優秀賞として発表しました。



当社の決算書を見ていただければ  
わかりますが、なんとか無借金経営を  
維持しています。

多くの企業が、借入れをして経営  
している中で、なぜ無借金にこだわる  
のかと言えば、なんとなくではありま  
すが、理由があります。

例えば、経営状況が悪化したとしま  
す。売上げが落ち込んだり、思うよ  
うに利益が出ず赤字になったり、経  
済状況は大きなうねりを持って動い  
ていますので、いろいろな状況が発  
生します。

そういう嫌な状況に遭遇した時に、  
経営者は何をしなければいけないの  
かと言えば、売上減少や赤字の原因  
を調べて、それに対して手を打つと  
言うことです。それは、経費抑制と  
か原価低減とかですが、経営者とし  
て一番嫌なことは、賃金カット、また  
は人員削減を実施しなければならな  
いことです。

本人に大きな非はないのにもかか  
わらず、人の人生を大きく揺さぶる  
ような事態を決断しなければなりま

せん。

そんな時に、経営者が考えそうな  
ことは、今は厳しい状況であるが、  
外部要因が変化すれば、また状況  
も良い方向になるかもしれない、今  
しばらくは、銀行から融資を受けて  
様子を見ることにしよう。

借金に日常的に慣れてしまえば、  
ピンチを乗り越える為に、借金をし  
て乗り越えようとするのです。  
となると、売上減少や赤字の原因を  
追求せずに、外部環境が良くなる  
ことを期待してしまいます。

結果、会社は赤字になりますが、  
銀行から融資を引き上げられると、  
会社が倒産しますから、融資を続け  
てもらい、決算を粉飾するようにな  
ります。こうなると、決算の内容も  
ぐちゃぐちゃになり、会社の真実が  
数値でつかめなくなります。

借金が悪いわけではありませんが、  
人間は弱い面を持っていて、厳しい  
状況から逃げがちです。が、厳しい  
状況に立ち向かうからこそ、困難を  
乗り越えることができるのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 清水建設様より社長表彰をいただきました

**表彰状**  
東大依市花園ビル増築工事における  
優等貢献  
清水建設株式会社  
社長 井上和幸

貴社は建築プロジェクトの現場で、  
専門知識と経験に基づき、優れた技術と  
プロフェッショナルな姿勢で、大規模な  
プロジェクトの施工に貢献されました。  
特に、施工現場における安全管理、  
品質管理、進捗管理など、多岐にわた  
る面で、高いレベルでの貢献を認めま  
す。この功績を表彰し、今後のさらなる  
発展を期待いたします。

令和元年十一月十二日  
清水建設株式会社  
社長 井上和幸

**表彰状**  
東大依市花園ビル増築工事  
における優等貢献  
優等職労賞  
清水建設株式会社  
社長 井上和幸

貴社は建築プロジェクトの現場で、  
専門知識と経験に基づき、優れた技術と  
プロフェッショナルな姿勢で、大規模な  
プロジェクトの施工に貢献されました。  
特に、施工現場における安全管理、  
品質管理、進捗管理など、多岐にわた  
る面で、高いレベルでの貢献を認めま  
す。この功績を表彰し、今後のさらなる  
発展を期待いたします。

令和元年十一月十二日  
清水建設株式会社  
社長 井上和幸

## 2019年 安全成績

■現場災害 2019.1.1-12.9	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 2019.1.1-12.9	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0